

岐阜北週報



8月 会員増強及び拡大月間

<input type="checkbox"/> 題字	国井省二	<input type="checkbox"/> 会長	国井 省二	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	服部洋一郎	2009-2010
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	波多野光裕	No.1316
		会報委員長	片桐順一郎	09.08.05 発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1315 回例会 7/26 (日) クラブアッセンブリー (3) ガバナー公式訪問 I M A 分区合同例会担当会長・幹事	第 1316 回例会 8/5 (水) 慶祝行事・ クラブフォーラム (2) 会員増強委員会	第 1317 回例会 8/19 (水) クラブアッセンブリー (4) I . A 年次大会報告会・合同例会 担当：インターアクト委員会

I M/ 合同例会 日時：平成 21 年 7 月 26 日 日曜日 10:00~13:00
会場 岐阜都ホテル ホスト：岐阜ロータリークラブ

インターシティミーティング (10:00~12:00) 司会 高橋伸治 (岐阜 RC)

出向紹介・講師紹介・

真鍋修身 ガバナー補佐

本日は岐阜 A 分区 I M・合同例会に岩本忠ガバナーのご出席を頂き厚くお礼申し上げます。
由良久直前ガバナー、桑月心ガバナーエレクトをはじめ地区役員の皆様にご出席いただきありがとうございます。また岐阜 A 分区 5 クラブの会員の皆様には今日一日、ロータリーの研修と親睦に努めていただきたいと思います。
さてすでに御承知のことと思いますが、今年度 R I 会長ジョン・ケニー氏のテーマは「ロータリーの未来はあなたの手のの中に」であります。また岩本忠ガバナーの地区目標は「ロータリーの心を大切にしよう」であります。
本日の I M は当地域の周産期医療のリーダーである川鱈市郎先生をお招きしました。今日一日が実りあるものになるよう祈っております。
最後に今年度の I M・合同例会をご準備くださった岐阜 RC 山内英通会長、林初彦実行委員長をはじめ関係各位に心より感謝申し上げます。



「未来の人類のための医療が身近に」

講師 川鱒一郎様

私の専門は周産期医学、特に胎児診断および胎児治療であります。役職として世界周産期学会教育委員、日本胎児治療学会事務局長、日本母体胎児学会常任幹事を務める傍ら、子供の安全ネットワークジャパン幹事としてチャイルドシートや子供の事故防止のために全国行脚を行っています。妊婦シートベルトの必要性を主張し、自動車乗車中の子供の安全推進合同委員会委員として関連学会に働きかけています。昨年第30回母子保険奨励賞を受賞し、東宮御所で皇太子ご夫妻の接見を許されました。胎児治療の先駆者の1人として、テレビなどでもたびたび取り上げられ、産科医師不足の中で長良医療センターに全国から若手医師が集まっております。

わが国の特徴として、自分で自分を守る力が弱い子供やお年寄りが、不慮という言葉で表現される事故によって尊い命を落としています。チャイルドシートや妊婦のシートベルトは正しく装着することにより、子供を最大限に守ることができるのです。新しい命をしっかりと守ることをみんなで考えていきたいと願っています。

産まれる前に病に冒されている子供たちがいます。かつてはどうすることもできないままに、亡くなっていく様をみなければなりません。超音波に代表される画像診断や様々な機器の開発によって、このような子供たちが元気に育つ可能性が見えてきています。胎児治療は未来の人類のための医療なのです。まだ歴史も浅く、実践できる医師や病院も限られていますが、長良医療センターは数少ない胎児医療の拠点病院として国内外の先進医療に貢献しています。今日は胎児に対する医療の実際と、長良医療センターの診療の様子を皆さんにご紹介します。多くの困難を乗り越えて赤ちゃんを産んでいるお母さん達にぜひエールを送って下さい。

以下省略



合同例会

岩本忠ガバナーごあいさつ・卓話

本日、岐阜A分区のIMが開催されますことに、心よりお祝いを申し上げます。

貴分区には、日頃より健全なるロータリー活動を積み重ねておられますことに、敬意を表したいと思います。

ご承知の通り、私達のロータリーは本来、親睦と奉仕によって成り立つ専門職種の仲間の会であります。創設以来、その趣旨と活動のあり方に共鳴して仲間は増え、組織は世界規模にまで拡大し発展して参りました。この拡大に対して途中、様々な局面で必要な工夫を凝らして来たことが、ロータリーの歴史として記録に残されています。その足跡をも含めて今日のロータリーが存在しているのであります。

創設100年を経た今の、私達の世代のロータリーは、発足の精神と歴史の過程とを考え合わせて、その活動と組織運営を進めてゆかねばなりません。社会情勢の減衰と組織拡大の鈍化が顕著になっている時期こそ、ロータリーの本来のあり方、ロータリーの理想、奉仕の理想について考える良い機会であります。

本日が、ロータリーについての様々な事柄を考える意義ある会となりますことを期待して私のご挨拶と致します。

以下省略



出席報告

会員数：36名
出席者：21名
出席率：21/36 58.33%
欠席者：15名 (出席免除 8名 80.55%)

次回例会のご案内
8/19 第1317回
クラブアッセンブリー (4)
IA年次大会報告会・合同例会
担当：インターアクト委員会